



特定非営利活動法人 SEIN

# 2016 年度事業報告書

事業期間：2016 年 4 月 1 日 ～ 2017 年 3 月 31 日

# Ⅰ 実施概要

## 市民活動支援事業

事業名	<p>市民活動支援事業</p> <p>(1) SEIN の NPO 支援センター運営事業</p> <p>①地域づくり支援の事業化に取り組む</p> <p>②テーマ型のネットワークで3つの分野「こどもの居場所、子育て、近郊都市の健康づくり」について課題解決をめざす SEIN の「現場」をつくります。将来的には、様々な主体が横断的に集まるプラットフォームにつなげます。</p> <p>③NPO へのコンサルティングを促進します。</p> <p>(2) 堺市市民活動コーナーの運営事業</p> <p>①資金調達セミナーを実施します。</p> <p>②2017 年度以降の堺市における市民活動支援のあり方(特に堺市市民活動コーナー事業) について提案をまとめます。</p>
事業目的	<p>市民が自主的・自発的に行う活動を「ネットワークづくり」「運営・設立相談」「運営に役立つ情報提供」「NPO を担う人材育成」によって支援する。</p> <p>地域づくり、およびテーマ型の NPO の課題解決スピードを加速する現場を生み出す。</p>

### (1) SEIN の NPO 支援センター運営事業

<p>①地域づくり支援の事業化に取り組む。</p> <p>2つの地域で、大きく4つの取り組みに関わりました。</p> <p>&lt;泉北ニュータウン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泉北ニュータウンまちびらき 50 周年事業構築支援業務 (泉北ニュータウンまちびらき 50 周年事業事務局の運営)</li> <li>・泉ヶ丘駅前エリアマネジメント事業 (南海高速鉄道株式会社との協働)</li> </ul> <p>&lt;南花台&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南花台スマートエイジングシティ みんなの拠点プロジェクト</li> <li>・お外でピクニックプロジェクト (大阪府スマートエイジング・シティ地方創生戦略事業推進費補助金事業)</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口規模12万人のニュータウンにおいて、50周年という機会における、市民・企業・大学・行政によるオープンな協働の場の構築を得ました。派生したプロジェクトが多数生まれ、今後のニュータウンにおける事業モデルの企画構築を行いました。特に「出会う・つながる・歩みだす」をコンセプトとして定義し、さまざまな事業の基準となる状況を生み出しました。</li> <li>・これまで「場づくり」を通じて得た経験を活かし、毎月開催される事務局会議・定例会議・企画を構築する運営部会を運営し、さらなる多様な連携事業者をニュータウン地域再生室と共に募り、50周年を祝う事業を PR する告知用リーフレットを5,000部発行しました。</li> <li>・次の50年を担うまちのプロデューサーとして公募市民を募り11名のプロジェクトを50周年事業として構築を伴走支援しました。</li> </ul>
--

・平成27年度に実施した関西大学与謝野教授による生活実態調査（3/6 調査完了）等を元に地域の課題を把握し、継続性があり地域課題解決手法を構築するため、ソーシャルビジネスの創生に繋がる人材育成と具体的な取り組み内容・運営体制の研究を実施し、課題を中心に地域の強みを活かしたコミュニティ・ビジネス構築プロセスツールを作成し実施した。①重要度×満足度アンケートにもとづき、将来的に緊急性が高くなる買物応援プロジェクトを実施・継続している（総稼働住民数のべ128名利用者数13名）②伝統産業の課題解決と、地域の仕事づくりと仲間づくりとして「ペチャクチャ小商い村」としてつまようじの内職作業をのべ53名で実施しました。

・食×健康寿命延伸をテーマに、スローシティ「咲つく南花台」プロジェクトでからだの健康・こころの健康の実現を目的に、①V.O.S(野菜たっぷり、適油、適塩)メニュー②地域の管理栄養士とコラボレーション③孤食・独食ではなくワイワイ・ガヤガヤ「みんなでわけてつながる」ごはん④地元食材弁当、地元材料ツール、地元店舗・・・とにかく地元！にこだわったプロジェクトとして、ニュータウンのポテンシャル①自然環境（まち）②専門人材の発掘（ひと）③ピクニックを通じた「新たな関係性の構築」（ひと）④地元で育むコミュニティ経済としてお弁当箱・咲つくピクニック健康弁当（しごと）を生み出し、健康を意識した人の割合 70.9%（合計78名/110名中）にすることができました。

#### 【課題】

- ・市民・企業・大学・行政によるオープンな協働の場をコーディネートできる人材に限りがあり、機会をより効果的に近づけるための人材育成及び協力関係を築き事業を推進できる体制構築も必要です。
- ・事業実施時に常に、SEIN が稼働している情報発信を意識し、SEIN に協力しようと共感を得られる状態が早期に必要です。
- ・プロジェクト型で進める依頼が増加し、SEIN の役割及び協働する人や組織との役割分担を規定し、より効果の高いプロジェクトに取り組む必要です。
- ・事前に委託元との成果指標の共有を握るためにも、事前の提案企画書の作成において地域課題や想定される事業スキームを複数パターン準備できる体制が必要です。

②テーマ型のネットワークで3つの分野「こどもの居場所、子育て、近郊都市の健康づくり」について課題解決をめざすSEINの「現場」をつくります。将来的には、様々な主体が横断的に集まるプラットフォームにつなげます。

#### <子どもの居場所>

- ・子ども食堂モデル事業  
（堺市子ども企画課とNPO法人み・らいずとの協働事業）
- ①子ども食堂モデル実施（6ヶ所9回実施）
- ②「子どもの貧困の連鎖を断ち切る」を真ん中に置いた総合円卓会議（4回実施）
- ③子ども食堂のガイドラインの発行

#### <子育て>

- ・南大阪子育て支援ネットワークでの取り組み  
（大阪ガスとNPO法人SAKAI子育てトライアングルとえーる・やんちゃまファミリー With）
- ①2つの課題についての公開円卓会議を主催

『子どもを取り巻く貧困』『子育てと働く』

<近郊都市の健康づくり>

- ・河内長野市健康づくり推進員養成講座の実施  
(河内長野市保健福祉部健康推進課 (保健センター))
  - ①健康づくり推進員を育てる養成講座を開催
  - ②河内長野健康づくり推進白書の発行
- ・ライフヘルスデザインプロジェクト  
(NPO 法人みんなの Well.net と三谷ファミリークリニックと協働事業  
住友ゴム CSR 基金を活用し実施)
  - ①全6回のライフヘルスデザインを考えるセミナーの開催

**【成果】**

- ・3つのテーマにおけるプラットフォームづくりとして、①子どもの居場所は円卓会議におけるマルチステークホルダープロセスによる協働による課題解決の効率化、②子育てでは円卓会議におけるマルチステークホルダープロセスにおける課題解決のあり方を模索する協議体、③近郊都市の健康づくりでは、健康寿命延伸をキーワードに保健センターと市民による地域主体の健康づくりの支援スキーム（定例会及び養成講座）が生まれ、2017年度にも引き継げる形のものがありました。
- ・上記ネットワークを通じ子ども食堂ガイドラインや、河内長野健康づくり推進白書等の冊子を発行することができました。
- ・それぞれのテーマにおけるキーパーソン（プレーヤー・プロデューサー・コーディネーター）も見えてきた取り組みとなりました。

**【課題】**

- ・協働の場ごとに、求められる解決すべき課題及び、成果を事前に共有し、場をデザインする多様な手法の活かし方にもっと工夫が必要です。
- ・様々な関係機関が関われば、プロセスにおける合意形成などに時間が取られることによる社内の人材不足がありました。
- ・合意形成によるファシリテーターをもっと増やす必要があります。

**③NPO へのコンサルティングを促進します。**

- ・NPO マーケティング個別サポート業務として NPO へのコンサルティングに取り組みました。  
(堺市市民協働課と、株式会社 PubliCo (パブリコ) と協働事業)

**【成果】**

- ・参加してくださった方から、今後もフォローアップ研修等を行って欲しいという要望もあり、満足度が高い研修、伴走支援を行うことができました。
- ・参加団体の方たちがつながり、協働で事業が行えるような土壌ができました。
- ・講師から参加者の方へのアドバイス等を直に聞くことができ、今後、マーケティングを用いた伴走支援を行っていくにあたって、課題抽出の方法や対応について学ぶことができました。

**【課題】**

- ・メーリングリストを活用した情報交換や支援が十分に行えませんでした。

- ・報告会の広報開始時期が遅れたことにより、狙ったターゲット層への広報ができませんでした。
- ・人材的な支援、ツールとしての支援などパッケージ化することができませんでした。

## (2) 堺市市民活動コーナー運営事業

### ①資金調達セミナーを実施します。

〔NPOマネジメント講座の開催実績〕

～事務担当者スッキリセミナー～

	開催内容	開催日時	参加人数
第1回	市民活動団体の資金調達を学ぶ！ ～資金源を拡大して、あなたの理想の団体に近づこう～ office musubime 代表 河合 将生 氏	8月4日(木)	14名
第2回	ボランティアとの連携でここまでできる！ ～お金が先？ 人が先？～ 岸和田市社会福祉協議会地域福祉課係長兼 ボランティアセンター主任 青山 織衣 氏	9月12日(月)	14名
第3回	助成金選びと申請の基礎のキソ ～組織と個人の成長に活かす！～ office musubime 代表 河合 将生 氏	10月6日(木)	19名

〔NPO実務まごのて講座の開催実績〕

開催内容	開催日時	参加人数
NPO 初心者・実務者のための講座 とことん！NPO 法人の1年の流れを知る！ 【平日】	5月19日(木)	4名
NPO 初心者・実務者のための講座 とことん！NPO 法人の1年の流れを知る！ 【平日】	5月31日(火)	7名
NPO 初心者・実務者のための講座 とことん！源泉について習得する！ 【平日】	7月21日(木)	5名
NPO 初心者・実務者のための講座 とことん！源泉について習得する！ 【平日】	7月27日(水)	5名
NPO 初心者・実務者のための講座 日常の記帳！のノウハウ・ミニ講座 【平日】	10月12日(木)	1名
NPO 初心者・実務者のための講座 NPO の税金のことを知る！ミニ講座 【平日】	12月13日(火)	5名
会計基礎から決算書作成まで とことん会計 実務者講座 とことん！税務&決算書(活動計算書)作成 【平日】	3月27日(月)	3名

会計講座：税理士 上田 光隆氏

#### 【成果】

- ・既存団体の方だけでなく、新設団体の方も参加下さり新たなつながりがありました。
- ・助成金、ボランティアコーディネーションについての学びを他法人の方とともに深めることで、これらの課題に関する悩みや課題を、共有することができました。
- ・各回の講座における課題点(参加者アンケート)を講師に連絡し、2回目、3回目では、それらを活かして、より満足度の高い講座を実施することができました。

#### 【課題】

- ・より現場のニーズに即した講義が求められていた部分もありましたが、事例を用いながらの解説を、十分に行うことができませんでした。
- ・とくに若い年齢層へのアプローチができませんでした。

②2017年度以降の堺市における市民活動支援のあり方（特に堺市市民活動コーナー事業）について提案をまとめます。

折衝内容	折衝日時	SEIN側出席者
①2017年度以降の堺市市民活動コーナー運営の方針・見直しについて、②2017年度の町内職員研修、調査・研修等について、③府立大学とのNPO支援協定の内容と2017年度の見直しについて	6月30日（木）	湯川・中村
各区（市民活動コーナーのある堺区以外：中区、東区、西区、南区、北区、美原区）に赴いて、将来性の高い／求められる団体に出張し、団体の構成メンバーを対象として一定期間継続したサポートを行う、「アウトリーチ型」の中間支援について	8月17日（水）	湯川・中村
アウトリーチ型の中間支援、ならびに新たな人材育成の予算措置の可能性について	9月8日（木）	湯川・中村

**【成果】**

・堺市内の地域課題をビジネス的な手法により解決する「コミュニティビジネス」を一層促進するため、従来の市民活動コーナーでの「カウンター・来客型」「立ち上げ期・担当者の個別のお困りごと対応型」「堺市内のNPO法人全体への情報提供・講座型」の支援に加え、新たに下記の市民活動支援を行ってはどうかと提案しました。

・（ボランティア活動ではなく）コミュニティビジネスを行うNPO法人等を主な対象として、各団体の現場・拠点に赴き、その事業的な拡大ならびに人材育成を、多職種チーム（市民活動コーナー担当者、会計士、税理士、マーケティングコンサルタント、中小企業診断士等）でサポートする、「市民活動アウトリーチ型」の中間支援を提案しました。

・この結果、2017年度～2019年度の「堺市市民活動コーナーにおける市民活動支援業務」の中に盛り込まれ、予算も増額になりました。

**【課題】**

・従来から継続した部分ならびに新規に拡大した部分の双方において、より魅力的な企画提案書を作成、プレゼンテーションすることができず、堺市市民活動コーナー業務を引き続き受託することができませんでした。

## 2. コミュニティカフェ運営事業

事業名	コミュニティカフェ運営事業 ①インキュベーション施設（シェアするスペース）への進化 ②団地の空き室を活用した、子育てママのコワーキングスペースの創出
事業目的	人材不足である NPO の担い手として、また将来、社会を創る担い手としての“若者”に、社会問題・地域課題（特に NPO・NGO や市民活動団体などが取り組む）を知る機会を提供することで、若者の社会参加を促し、自立・持続した活動をめざす NPO や NGO と若者力をつなげていく、気軽な入口としてコミュニティカフェを運営する。

①シェアするスペースへの進化、インキュベーション施設としての機能をもつカフェをめざします
<p>7月より、18時から、Cafe&amp;BarTOMORUYA とのシェアが始まりました。</p> <p>2階に SEIN の事務所を本格的に構え、常時事務局に人がいる状態を作り、今後、コワーキング等、スペースのシェアを行うための準備を行いました。</p> <p>また、子育てに関する取り組み自体も継続的に実施しています。 (子どもカフェ・子育てママのためのヨガ教室・合気道教室等)</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃や水道光熱費等がシェアできるようになりました。</li> <li>・人の気配が常にある状態をつくる事ができました。</li> <li>・18時にキッチンを譲らないといけないので、仕事の効率化をはかることができました。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机やイスの設置や、うまくスペースを使っていく工夫に関しては今後も検討の余地があります。</li> <li>・値段設定を行い、従来あった仕組みと統一していく必要があります。</li> </ul>

②団地の空き室を活用して、子育てママのコワーキングスペースを作ります。
<p>予定していた府営団地の国の許認可に時間がかかり、許可がおりず、事業が実施できませんでした。</p>

### 3. 市民活動団体に関する情報発信支援事業

事業名	市民活動団体に関する情報発信支援事業を通じ ①全国の中間支援と連携し、NPO と ICT 企業のツールの流通網を整備事業 ②プロジェクト型の情報発信事業支援 ③全国の NPO の IT 支援への参画
事業目的	1. これまで取り組んできた①NPO や市民活動団体の情報が一箇所で見つけられるポータルサイト(玄関)となるサイト設立や②NPO や市民活動団体の情報発信などで培ったノウハウを活かし、制作と仕組みを作る情報発信支援する事業に変化する 2. また関西において NPO 同士の協働を促し、NPO や市民活動団体が社会から支援を受ける仕組みを作る

①全国の中間支援と連携し、NPO と ICT 企業のツールの流通網を整備事業
【成果】 NPO と ICT 企業のツールの流通網を提案しました NPO×ICT における業務改善及び課題解決の効率化をささえるプラットフォーム「DOORS」構築を目指す、ICT 支援者ネットワークに参画。現在世話役として全国の中間支援センターと協働し、2017年度に開催予定の NPO の課題解決を促進する ICT 大賞の準備を進めています。

②プロジェクト型の情報発信事業支援
【成果】 1、地域づくり支援事業・テーマ型のネットワークなど「仕組み」づくりに結びつく情報発信支援を行い、河内長野及び堺市における、デザイナーやエンジニアとのネットワークは構築でき、いくつかの情報発信体制を構築できました。 2、これまで制作した情報発信はマーケティング支援にシフトし、保守管理できるパートナー事業者（HT、Weather など）を探すことができました。

③全国の NPO の IT 支援への参画
【成果】 CANPAN による 9/27 オープン公益ポータル会議への参加。日本 NPO センターの全国会議（CEO 会議）4/21, 22、7/18, 19、10/11, 12に参加し、調査チームに所属し、全国の人口動態変化について、全国の市町村の人口推計予測を調査しました。



#### 4. 参加型の話し合いの場の企画・運営事業

事業名	参加型の話し合いの場の企画・運営事業 ①まちづくりファシリテーター（まちづくりにおける対話の場が作れる人材づくり）のプログラム開発と拡張
事業目的	ラウンドテーブル＝課題の共有と情報交換の場として、立場の違う人が集まり、情報交換を行い、参加者自身が仲間や、繋がりたい団体を連れてきたくなるような場を提供し、市民活動団体同士の自発的な協働を促進するため
①まちづくりファシリテーター（まちづくりにおける対話の場が作れる人材づくり）のプログラム開発と裾野を広げます。	
<p>●まちづくりファシリテーターの養成</p> <p>1、いずみ市民大学まちづくり学部テーマ学科・エリア学科の創設構築及び伴走支援          2016年度から開講されたテーマ学科・エリア学科全30回の講座の講師選定及び大学連携における内容アドバイスを行った。市民の注目も高く各25名（満席）の参加を得ました。          1～2回目、13、14、15回目ファシリテーター養成としても参画しました。</p> <p>●テーマ型</p> <p>1、ホワイトボード・ミーティング気軽な勉強会 in さかいを 10回開催しました          2016年①4/8②5/13③6/10④7/8⑤9/9⑥10/14⑦11/11⑧1/13⑨2/10⑩3/10          参加者から3級合格者3名、認定講師2名、サポーター10名生まれています。</p> <p>●地域づくり</p> <p>1、河内長野市平成28年度協働促進研修（初任職員対象）          8/16＜事例・統計分析＞、2/9＜実地研修ふりかえり＞</p> <p>2、河内長野市地域まちづくり推進会議（まちづくり協議会対象）          ①8月17日 ②8月31日 ③9月14日 ④9月28日 ⑤10月12日</p> <p>3、岸和田市社会福祉協議会 □まちの課題を、まちの力で解決するために          6/13＜事例・統計分析＞、6/24＜アンケート調査＞、6/28＜ファシリテーション＞</p> <p>4、京都府山城NPOパートナーシップセンター 2/26＜事例＞</p> <p>5、内閣府小さな拠点フォーラム「小規模多機能自治」話題提供 3/1＜事例・ワークショップ＞</p> <p>6、3/11 岸活セミナー 行事と会議の棚卸し～これからの時代にあった団体のあり方とは～</p> <p>●NPOへのコミット</p> <p>1、NPO法人ワーカーズ・コレクティブはんど Hand カフェ梅の里 戦略会議 1/20</p> <p>2、NPO法人やんちゃファミリーwith 理事会</p> <p>3、NPO法人チャレンジクラブ アドバイザー</p> <p>●講座</p> <p>1、生涯学習アドバイザー養成講座 6/16、23</p> <p>2、大阪市人権啓発推進員リーダー養成研修 11/15（1回）、11/1（2回）、11/21（1回）</p> <p>3、つむプロ プロジェクトミーティング+ホワイトボードミーティング講座 1/7</p> <p>【成果】単発講座から、講座設計へのコミットへと変化し、各地にまちづくりファシリテーターの考え方を理解する仲間が増えています。</p> <p>【課題】今後は、育成すべき人材像を発信していく必要があります。</p>	

## 5. 市民活動団体の事務局支援事業

事業名	市民活動団体の事務局支援事業 ①岡山 NPO センターと連携し、NPO の事務局人材育成を行う ②企業の CSR 活動と連携し、団体同士のコーディネート機能の役割を担う
事業目的	NPO 自体の事務局を担う人材不足を支援することで、NPO の円滑な運営に協力し、より活発な NPO 活動を促進するため。

①岡山 NPO センターと連携して、NPO の事務局アップに取り組み、大阪府内の事務力を向上し、NPO の社会的信頼を高めます。

2016 年度は、事務力検定等の具体的取り組みは実施できませんでした。

②企業の CSR 活動と連携し、団体同士のコーディネート機能の役割を担う

3 つの企業と連携し、コーディネートや助成金等申請に関する事務局を担っています。

- ・住友ゴム CSR 基金にて、3 つの団体の推薦を行い、助成を行う。
- ・大阪商工信用金庫 CSR 推進室による、「大阪商工信金社会貢献賞」への団体推薦
- ・大阪ガス近畿圏部南部地域共創チームと南大阪子育て支援ネットワークの構築コーディネート

## 6. 市民活動団体とその活動に関する調査研究および政策提言に係る事業

事業名	市民活動団体とその活動に関する調査研究および政策提言に係る事業 ①大阪府下の NPO におけるホワイトリストづくりと団体力調査を行う
事業目的	堺市内の NPO や市民活動団体の現状を正確に把握し、社会に発信、提言していくことで、NPO や市民活動団体が自立した活動がしやすくなる環境整備を行うため。

①大阪府下の NPO におけるホワイトリストづくりと団体力調査を行います。
2016 年度は実施できませんでした。

②シンシエンシャ会議
京都地域想像基金 深尾さん、岡山 NPO センター石原さん、株式会社 Publico 山元さんとアドバイザー IIHOE 川北さんと、今後の支援者のあり方について議論するプラットフォームとして「シンシエンシャ会議」を立ち上げる。3 / 19 に 1 回目シンシエンシャ会議@PHP 研究所（参加者 51 名）を開催し、継続的に議論を行っています。
※前提に実施した企画
7 / 15 （仮称）市民社会の関西広域連合の開催
京都地域想像基金 深尾さんと共に、IIHOE 川北さんを迎え、今必要な支援者像を議論しました
参加者 12 名

## 7. 内部への取り組みとして

①SEIN を支えていただいている会員さんとのコミュニケーション！！の取り組み
メールマガジンを発行し、SEIN の近況などを伝える媒体を配信しました。

②SEIN 中長期プロジェクトの開催
理事会に提案する組織として、中長期プロジェクトを立ち上げました。
メンバー：湯川・宝楽・中村・花田
下記に取り組みました。
①これまでの棚卸し
②これから 10 年の見通し
③ビジョンの見直し
④ビジョンに必要な機能の確認
⑤2017 年度の具体的な事業計画
そこで話し合ったことを理事会に図りました。

③SEIN 理事会	
5 月 25 日	議案 1：総会の日程 議案 2：総会資料の件
2 月 3 日	今後の SEIN の方向性について

3月21日	今後のSEINの方向性について
②総会	
6月20日	第1号議案 2015年度事業報告 第2号議案 2015年度決算報告 第4号議案 2016年度事業計画書 第5号議案 2016年度予算書